

宝石を探し出す（10分）

①（代二 17:9 彼らはエホバの律法の書を持参し、ユダで教え始めた。ユダの全ての町を回って、民を教えた）
エホシャファトが組織した教育活動から何を学べるか。

（塔研17.03 20ページ10-11節）10 アサの息子エホシャファトは「その父アサの道に歩み続け」ました。（代二 20:31, 32 エホシャファトはユダを治め続けた。彼は35歳で王になり、エルサレムで25年治めた。彼の母はアズバといい、シルヒの娘だった。32 彼は父アサと同じ道を歩み続けた。その道からそれず、エホバから見て正しいことを行った）どのようにですか。父と同様、神を求めるよう民を励ました。「エホバの律法の書」を用いた教育活動を組織したのです。（代二 17:7-10 治世の第3年、エホシャファトは、ベン・ハイル、オバデヤ、ゼカリヤ、ネタヌエル、ミカヤという高官たちを呼び、ユダの町々で教えさせた。8 シェマヤ、ネタヌヤ、ゼバドヤ、アサエル、シェミラモト、エホナタン、アドニヤ、トビヤ、トブ・アドニヤというレビ族の人たちも同行し、祭司のエリシャマとエホラムも一緒だった。9 彼らはエホバの律法の書を持参し、ユダで教え始めた。ユダの全ての町を回って、民を教えた。10 ユダの周りのどの王国もエホバからの恐怖に包まれ、エホシャファトと戦おうとはしなかった）人々を「エホバに連れ戻すため」、北のイスラエル王国の領土であるエフライムの山地にまで赴きました。（代二 19:4 エホシャファトは引き続きエルサレムに住んだ。そして、ベエル・シェバからエフライムの山地まで、再び民の中を巡った。民を父祖たちの神エホバのもとに連れ戻すためだった）エホシャファトは「心をつくしてエホバを求めた」のです。一代二 22:9 心を尽くしてエホバに仕えたエホシャファトの孫 11 わたしたちも、エホバが推し進めておられる大々的な教育活動に加わられます。あなたは毎月、この活動に携わっていますか。他の人に聖書を教え、神に仕えるよう励ましたいと思っていますか。そのことについて祈っていますか。努力を続けるなら、神の祝福により、聖書研究を司会できるかもしれません。自由な時間を幾らか犠牲にしても、研究を司会したいと思っていますか。エホシャファトは、真の崇拝に戻るよう人々を助けるため、エフライムの領土にまで赴きました。わたしたちも不活発な人々を助けるために努力します。長老たちは、会衆の区域にいる排斥された人々を訪問して助けを差し伸べます。その人たちは悪い行ないをやめているかもしれません。心をつくして、人々を「エホバに連れ戻す」活動に励んで行きたい

② 今週の範囲からエホバについて何を学べたか。宣教でどんな点を活用できるか。
ほかにどんな宝石を見つけたか。

※注解を準備して下さったり、参加して下さった皆さんに感謝いたします。

	オリーブ	バルサム	アーモンド	アカシア
1	田中 慶一	佐藤 貴之	山本 真人	竹林 直毅
2	田中 麻美子	佐藤 めぐみ	大谷 正	竹林 亜矢子
3	水品 安章	星 延宏	大谷 恵美子	吉田 忍
4	水品 由美子	星 佳代	* 阿部 直生	吉田 明美
5	米山 英行	星 拓哉	長谷川 貴史	五味 統
6	田中 克彦	伊藤 勇一	河野 正和	宮崎 倫子
7	田中 弘子	伊藤 本子	河野 真澄	石原 小夜子
8	金目 一郎	滝 秀貞	柴田 まり子	石原 里佳
9	金目 明美	枝並 あや子	柴田 さつき	時松 純子
10	金刺 桂子	枝並 真菜	福永 和子	高橋 綾子
11	金刺 由里子	波多野 信昭	福永 悦子	杉本 千花子
12	金刺 亜以子	波多野 敬子	川島 みさ子	奥村 由美
13	大坂 典子	向山 公庸	荻原 幸子	小島 千晴
14	高橋 節子	田島 智子	松橋 美智	小島 奈帆美
15	杉山 みどり	田島 マヤ	安齋 麻理	中田 由美
16		宮城 ひかる	居松 広子	庄司 祐子
17	長谷川 瑛一	布川 志津	下野 輝行	
18		* 米山 京子		
19		平山 優子		